

フェロドールEPX 34

FERRODOR EPX 34

一般名称	エポキシ樹脂MIO塗料			
適用規格	—			
系統	ポリアミド硬化エポキシ樹脂M.I.O.中塗・上塗塗料(2液形)			
主な用途	【電力・プラント用】	【鉄塔・鉄骨用】	など	
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	—	—	—	—

特長
 1) 外観はM. I. O. (マイカシアス アイアン オキシド)特有のメタリック感がある。
 2) 各種適用上塗塗料との塗装間隔が長期にとれる。
 3) 長期の大気バクロに耐える。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.62
	溶剤密度(比重)	0.86
	加熱残分	71%

法令など	ベース	硬化剤
劇物表示 (品名・含有率)	—	—
労安法上の 表示有害物	キシレン、トルエン メチルイソブチルケトン イソブチルアルコール エチルベンゼン	キシレン イソブチルアルコール エチルベンゼン
使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等
消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)	第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分 による区分	ポリアミドアミン	
ホルムアルデヒド 放散等級	—	

製品情報		ベース	硬化剤
	荷姿	20kgセット	18.5kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=18.5:1.5	
	主な色(色相)	ブリッジグレー	

素地調整
 ○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	ベースを攪拌しながら硬化剤を徐々に混入したのち使用する。	
	熟成時間	30分	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。
	使用シンナー	テクトEPシンナー	
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~10wt% ハケ・ローラー: 0~10wt%	
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 10MPa(100kg/cm ²)以上 チップNo. 163-619~623	(日本グレイ社製)

フェロドールEPX 34

FERRODOR EPX 34

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗装	50	125	300
ハケ塗装	50	125	230

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	5時間	4時間	3時間	2時間	1.5時間	
	半硬化	16時間	12時間	10時間	8時間	6時間	
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	24時間	16時間	16時間	16時間	
	最長	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	
可使時間		24時間	16時間	8時間	4時間	4時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジंक、エポマリンプライマー、エスコ、アルテクトなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: エポマリン、ラバテクトN、レタン、セラテクトなど

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	45.4	2.2
	5	41.5	2.4
	10	38.2	2.6

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1) 粒子の大きなM.I.O.(マイカシアス アイアン オキシド)を使用しており、エアレススプレーのチップは大きなものを使用してください。
2) ハケで塗装した場合、ムラが生じやすいため、できるだけスプレーで塗装してください。
3) 未乾燥状態で雨に降られたような場合、白化することがあります。
表面のみの変色であれば特に塗膜性能に支障はありません。
4) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
5) 硬化剤は、缶に残らないように十分に取ってベースと混合してください。
6) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。